一ロ

立案 昭和 年 月 日

決裁 昭和 年 月 日

陸軍大尉川原欣三外七十一名叙位取消並叙位日附変更の件

昭和 年 月 日
臺帳記入 三 六 十一

宮内省

陸軍大尉川原欣三外七十一名敍位取消並敍位日附變更の件

右謹テ裁可ヲ仰ク

昭和二十一年六月十一日

内閣總理大臣　吉田茂

内閣總理大臣

内閣書記官長

内閣事務官

陸軍大尉川原欣三外七十一名敍位取消並敍位日附變更の件今般第一復員大臣第二復員大臣又は厚生大臣から別紙のとほり奏請あり今更不都合ではあるが事實已むを得ないと認められるから敍位取消並敍位日附變更上奏をして良いと思ふ

内閣

位階	戦死	官等・氏名
昭和二十年八月一日 正七位	昭和十九年十二月二十五日戦死	陸軍大尉従七位 川原欣三
同	昭和二十年四月十六日戦死	同 同 湯原孟
昭和二十年七月十一日 同	昭和二十年四月三十日戦死	陸軍少佐正七位 鈴木總一郎
同 従七位	昭和十九年十一月六日戦死	陸軍中尉正八位 佐々木親一
同	昭和二十年一月二十八日戦死	同 同 萩原國司
同 正七位	昭和二十年四月十日戦死	陸軍大尉従七位 高橋信三
同 従七位	昭和十九年十二月十九日戦死	陸軍中尉正八位 吉田省三
同 正七位	昭和二十年四月二十二日戦死	陸軍技術少佐正七位 竹村幸喜
昭和二十年八月一日 従七位	昭和二十年四月二十七日戦死	陸軍中尉正八位 早川康寛

右者等頭書ノ通官等相當位トシテ叙位宣下相成候處何レモ進級前既ニ戦歿シアルコト今般判明致シ候ニ付該位官御取消候上ハ特ニ相當位モ亦御取消相成度

謹テ奏ス　恐懼

昭和二十年九月十五日
叙従七位
[illegible] 正八位 [illegible]本省三

昭和二十年九月十五日
叙従七位
[illegible] 正八位 中田[illegible]

昭和二十年四月二日
叙正七位
[illegible] 従七位 松本正[illegible]

昭和二十年九月十五日
叙従七位
[illegible] 正八位 [illegible]丸[illegible]

昭和二十年九月十九日
叙従七位
[illegible] 正八位 [illegible]田貢司

昭和二十一年六月　日

第一復員大臣　吉田　茂

昭和二十年九月十五日	叙正七位	海軍大尉	從七位	西[illegible]四郎
同	叙從七位	海軍中尉	正八位	[illegible]標[illegible]男
昭和二十年九月十五日	叙從七位	海軍中尉	正八位	[illegible]野安男
同		同	同	伊賀毅一郎
昭和二十年九月十五日	叙從七位	海軍中尉	正八位	[illegible]山[illegible]正
昭和二十年九月十五日	叙從七位	海軍中尉	正八位	[illegible]同[illegible]一

昭和二十年九月六日	叙正六位	海軍少佐	正七位	池田侃
昭和二十年九月十五日	叙從七位	海軍中尉	正八位	佐々木[illegible]
同		同	同	石[illegible]
同		同	同	[illegible]一
同		同	同	[illegible]一[illegible]
同		同	同	[illegible]安大
同		同	同	山[illegible]
同		同	同	[illegible]八十[illegible]
同		同	同	[illegible]一

昭和二十年九月十五日 海軍中尉 正八位 [illegible]
叙従七位

同 同 同 [illegible]

昭和二十年九月十五日 海軍中尉 正八位 [illegible]
叙従七位

昭和二十年九月十五日 海軍大尉 従七位 椎名[illegible]三
叙正七位

昭和二十年九月十五日 海軍中尉 正八位 小川正[illegible]
叙従七位

昭和二十年九月十五日 海軍[illegible] 正八位 [illegible]
叙従七位

昭和二十年九月十五日 海軍中尉 正八位 山口[illegible]
叙従七位

昭和二十年九月十五日 海軍中尉 正八位 [illegible]尾[illegible]一
叙従七位

右各[illegible]叙位[illegible]
[illegible]叙位[illegible]
謹テ奏ス

昭和二十一年五月三十一日

内閣総理大臣 吉田 茂

昭和二十年九月十五日　海軍技術大尉　従七位　柳ケ瀬　正　彦

敍正七位

昭和二十年九月六日　海軍技術少佐　正七位　田　中　資　保

敍従六位

右者各頭書ノ通敍位発令相成候処柳ケ瀬海軍技術大尉ハ昭和二十年二月二十五日、田中海軍技術少佐ハ同年四月六日孰モ戦死セルコト判明致候ニ付テハ本敍位取消相成度恐懼

謹テ奏ス

昭和二十一年五月二十二日

昭和二十年九月十五日　海軍主計大尉　従七位　吉田豊穣

叙正七位

右者頭書ノ通叙位発令相成候処昭和二十年一月八日戦死

致候ニ付本叙位取消相成度懇願

為テ奏ス

昭和二十一年六月四日

第二復員大臣　吉田

内閣 二復 奏 六 号

第二復員大臣　吉田　茂

昭和二十年九月六日　海軍主計少佐　正七位　青木　豊

敍從六位

昭和二十年四月二日　海軍主計少尉　大墳　秀夫

敍正八位

昭和二十年九月十五日　海軍主計中尉　正八位　六車　友夫

敍從七位

一

昭和二十年九月十五日　海軍主計中尉　正八位　坂下　正道

敍從七位

右者各通牒ノ通敍位發令相成候處書下海軍主計少佐ハ昭和十九年十二月二十五日、大　海軍主計少尉ハ昭和二十

海軍

年一月七日、六東[illegible]海底七十四[illegible]八[illegible]五月十九日、陛下
爾後生計中尉ハ同年八月二十六日ヲ以テ戦死致候ニ付本處
位階消相被成度此段
謹テ奏ス

昭和二十一年五月二十三日

第二復員大臣 吉田茂

復六六一

昭和十九年十二月一日 海軍少佐 正七位 小松壯重
敘從六位
右者頭書ノ通敘位被仰出候處昭和十九年五月一日戦死
致候ニ付本敘位取消相成度此段
謹テ奏ス

昭和二十一年六月五日

第二復員大臣 吉田茂

昭和二十年八月十五日
敍正八位　海軍少尉　志澤幸造

同　同　大竹芳夫

昭和二十年九月十五日
敍正七位　海軍大尉　從七位　鈴木信光

昭和二十年九月十五日
敍從七位　海軍中尉　正八位　中山弘壽

昭和二十年九月十五日
敍從七位　海軍中尉　正八位　水原俊一

昭和二十年九月十五日
敍從七位　海軍中尉　正八位　西川明一

昭和二十年九月十五日
敍從七位　海軍中尉　正八位　水井兼一
同　同　同　三谷政雄

昭和二十年九月十五日
敍從七位　海軍中尉　正八位　山口兼男

右者各頭書ノ通敍位發令相成候處末澤、大竹海軍少尉ハ昭和二十年三月一日、鈴木海軍大尉ハ同年三月二十五日、中山海軍中尉ハ同年五月七日、水原海軍中尉ハ同年五月二十七日、西川海軍中尉ハ同年六月一日、水井、三谷海軍中尉ハ同年六月十五日、山口海軍中尉ハ同年七月十日孰モ戰死致候ニ付本敍位取消相成度恐懼謹テ奏ス

昭和二十一年六月五日

第二復員大臣　吉田

昭和二十年八月十五日　海軍少尉　小松満
敍正八位

昭和二十年九月十五日　海軍中尉正八位　井本親
敍従七位

昭和二十年八月十五日　海軍少尉　本田順治
敍正八位

右者各頭書ノ通敍位被令相成候處小松海軍少尉ハ昭和二十年六月十一日、井本海軍中尉ハ同年六月十二日、本田海軍少尉ハ同年六月十五日既ニ戦死致候ニ付本敍位取消相成度悉・願

昭和二十年四月二日　海軍中尉　正八位　庄司宗尚

敍從七位

右者頭書ノ通敍位ノ命相成候處昭和二十年三月二十六日

戰死致候ニ付本敍位日附ヲ戰死ノ日ノ前日ニ更正相成度

恐懼

謹テ奏ス

昭和二十一年六月五日

第二復員大臣　吉田

謹テ奏ス

昭和二十一年六月五日

第二復員大臣　吉田

二優 六七三

昭和二十年九月十五日 海軍中尉 正八位 磯道 達
敍從七位

昭和二十年九月六日 海軍少佐 正七位 泉田 満
敍從六位

右者各頭書ノ通敍位ノ令相成候處磯道海軍中尉ハ昭和十九年十二月二十四日、泉田海軍少佐ハ昭和二十年六月十六日孰モ戦死致候ニ付本敍位取消相成度懇願

謹テ奏ス

昭和二十一年六月七日

昭和二十年七月二十八日

敍正七位　海軍大尉　水知創一

右者頭書ノ通戰死特殊進級相當位トシテ發令相成候處昭和二十年七月十六日戰死致候モノナルコト判明致候ニ付本敍位日附更正相成度恐懼謹テ奏ス

昭和二十一年五月十八日

第二復員大臣　吉田茂

昭和二十年四月[illegible]四日
敍從七位　　海軍中尉　亥角泰彦
同　　同　　館脇孝治
同　　同　　八木寛

右者各頭書ノ通敍位發令相成候處今般二階級進級上奏可然モノナルコト判明致候ニ付本敍位取消相成度恐懼謹テ奏ス

昭和二十一年五月十八日

第二復員大臣　吉田茂

内閣

内閣二復[illegible]六六八号

昭和十九年十一月二十一日　海軍中尉　正八位　豊田正美

叙従七位

右者曩ニ通牒特進級ニ対スル相当位トシテ叙位発令相成候処今般生存シアルコト判明致候ニ付本叙位取消相成度證憑

謹テ奏ス

昭和二十一年六月五日

第二復員大臣　吉田

第二復員大臣之印

昭和二十年五月十日 海軍中尉 正八位 中村義良
敍從七位

右者頭書ノ通特旨進敍ニ對スル相當位トシテ敍位發令相成候處今般生存シアルコト判明致候ニ付本敍位取消相成度懇請

謹テ奏ス

昭和二十一年五月二十八日

第二復員大臣 吉田茂

海軍

昭和十九年十二月十七日　敍從七位　海軍中尉　正八位　奥田功二郎

昭和二十年一月十一日　敍從七位　海軍中尉　正八位　森次男

昭和二十年一月三十一日　敍從七位　海軍中尉　正八位　近藤勇藏

同　同　同　河名芳郎

同　同　同　廣田悟

右者各頭書ノ通特殊進級ニ對スル相當位トシテ敍位發令

相成候處今般孰モ生存シアルコトト判明致候ニ付本敍位取

[illegible]

謹テ奏ス

昭和二十一年五月二十六日

第二復員大臣　吉田　茂

國立癩療養所醫官　保田　耕

敍從五位

右者昭和二十一年三月三十日高等官三等ニ陞敍セラレ同年四月十五日從五位ニ敍セラレ候處同人ハ昭和二十年五月二十七日戰病死シタルコト判明致候ニ付テハ今更恐懼ニハ候得共右敍位ノ儀御取消被爲在度

右謹テ奏ス

昭和二十一年五月二十三日

（別紙）

昭和十九年十二月二十八日	比島方面	陸軍中尉	岩本省三
昭和二十年二月十日	同	同	山田茂
昭和二十年二月十五日	同	陸軍大尉	松本正俊
昭和二十年二月二十八日	同	陸軍中尉	住丸英寿
昭和二十年三月三十一日	同	同	森田貞司
昭和二十年四月二日	同	陸軍大尉	内藤四郎
同	同	陸軍中尉	富樫泰男
昭和二十年四月九日	同	同	上野民男
同	同	同	田宮毅一郎

厚生大臣　河合良成

厚生省

昭和二十年四月十七日	比島方面	[illegible]	嶋田[illegible]正
同二十年四月二十一日	同	同	[illegible]一
昭和二十年四月二十八日	同	海軍少佐	池田　侃
同	同	海軍中尉	佐々木[illegible]
同	同	同	石[illegible]
同	同	同	[illegible]一
同	同	同	佐[illegible]一
同	同	同	西[illegible]
同	同	同	山[illegible]三
同	同	同	香[illegible]八十麿
同	同	同	宇[illegible]一
同	同	同	[illegible]
同	同	同	藤井[illegible]
昭和二十年五月十二日	同	同	杉本[illegible]
同二十年六月二十九日	同	海軍大尉	椎名[illegible]三
昭和二十年七月一日	同	海軍中尉	小川[illegible]
同二十年七月二十八日	同	同	横[illegible]
同二十年八月五日	同	同	山口[illegible]
同二十年八月十日	同	同	[illegible]一

昭和二十一年五月三十一日　　　第二復員省人事局長

内閣官房人事課長　殿

戦没或ハ行方不明ニ関スル件照會

月　日二復員局人[illegible]政府ノ依ヒ[illegible]右記ノ者ハ[illegible]

[illegible]

[illegible]

昭和十九年十二月二十八日　比島方面ニテ戦死　海軍中尉　[illegible]
（昭和二十年八月三十日発令[illegible]）

昭和二十年二月十日　同　中尉　八十二枚目参

昭和二十年二月十七日　同　[illegible]
（昭和二十年三月十[illegible]）

昭和二十年二月二十八日　同　[illegible]丸乗組
（昭和二十年八月三十日[illegible]）

海軍

竊

侃

八十三枚目裏

海軍大尉　椎名

海軍中尉　小川

昭和二十一年五月二十二日

第二復員省人事局長 第二復員省人事局長印

内閣官房人事課長 殿

叙位取消ニ関スル件照会

五月二十二日二復秘人第一一四一號叙位取消ノ件上奏相成候處左記ノ者ハ各両書ノ通今次戦争作戦従事中戦死致候處通信連絡途絶ノ為戦死報告叙位発令後トナリタルモノニ有之候條取消方可然御取計相成度

記

昭和二十年二月二十五日 比島方面戦死 海軍技術大尉 櫛ケ淵 正彦
（昭和二十年八月三十一日進達海秘人第二二七四號海軍技術大尉石崎茂男外一千十名中二十三枚目要）

昭和二十年四月六日 南支那海戦死 海軍技術少佐 田中 保
（昭和二十年一月二十五日進達二復秘人第四五八號海軍大佐石原昌成外九百二十八名中三十五枚目要）

（終）

（昭和二十一年一月[illegible]第二十一号[illegible]）
昭和二十一年[illegible]六日 [illegible]
（昭和二十年八月三十一日[illegible]）
昭和二十一年二月二十六日[illegible]

記

今般十五日[illegible]
[illegible]
昭和二十一[illegible]
[illegible]

内閣書記官長 殿

第二復員省人事局

昭和二十一年五月二十二日

一二〇人事[illegible]

昭和二十一年六月四日

内閣官房人事課長 殿

第二復員省人事局長

叙位取消ニ関スル件照会

六月四日二復人第一三二二号ヲ以テ叙位取消ノ件ヲ上奏相成候処左記ノ者ハ今次戦争終戦後戦死認定変更ノ為叙位取消ノ要有之候条取消方可然取計相成度

記

昭和二十一年一月八日 比島方面ニ於テ戦死 海軍[illegible]大尉

（昭和二十年八月三十一日附官報第[illegible]号掲載[illegible]六百八拾六名中二十四枚目表）

（参）

昭和二十一年五月二十三日

第二復員省人事局長

内閣官房人事課長　殿

叙位取消ニ関スル件照会

五月二十三日二復秘人第二七三號叙位取消ノ件上申相成候左記ノ者ハ各頭書ノ通今次戦争作戦従事中戦ニ戦死致候處通信連絡遅延ノ爲戦死發令前叙位發令後ナリタルモノニ有之候條取消方可然取計相成度

記

昭和十九年十二月二十五日　ビアク島戦死　海軍主計少佐　市　木　[illegible]　俊
（昭和二十一年一月二十五日復達二復秘人第四五八號海軍大佐石原昌外九百二拾八名中三十枚目表）

昭和二十年一月七日　比島方面戦死　海軍主計少尉　大　墳　秀　夫
（昭和二十一年三月十四日復達二復秘人第六二四號海軍主計少尉一方作吉以下五百三十九名中二十二枚目表）

昭和二十年五月十五日　比島方面戦死　海軍主計中尉　六　車　友　夫
（昭和二十一年八月三十一日復達二復秘人第一三七三號海軍主計大尉石茂賓外六百八拾六名中三十四枚目表）

昭和二十年八月二十六日[illegible]

（昭和二十年八月三十一日海軍省人事局二三七三號海軍士官大臣衣[illegible]警升六百八拾六名四三十九[illegible]日本）

（終）

昭和二十一年六月五日

第二復員省人事局長

内閣官房人事課長 殿

叙位取消ニ関スル件照会

六月五日二復秘人第一三三〇号ヲ以テ叙位取消ノ件上奏相成候処左記ノ者ハ両者ノ通令次閲學作戦後導中戦死致候處補任通知遅延ノ為戦死認定後叙位發令後トナリタルモノニ有之候條取消方可然取計相成度

記

昭和十九年五月一日　内南洋方面　戦死　海軍少佐　小松　輝重
（昭和十九年十一月二十日海軍公報（人事）第四五五二号海軍中佐杉田良知以下百三十七名中一人日付）

（終）

昭和二十一年六月五日

内閣官房人事課長 殿

第二復員省人事局長 [印：第二復員省人事局長印]

敍位取消ニ關スル件照會

一　六月五日二復秘人第一三一五號敍位取消ノ件ヒ委相成候左記ノ者ハ各面書ノ通今次戰爭作戰從事中孰モ戰死致候處通信連絡遲延ノ爲戰死報告敍位發令後トナリタルモノニ有之候條取消方可然取計相成度、

記

昭和二十年三月一日　宮古島北方海面戰死　海軍少尉　赤澤秀造
（昭和二十年八月八日進達海秘人第一八七四號海軍少尉丸山昂外三千二百六十四名中二十六枚目裏）

同　同　同　大竹芳夫
（右同　三十五枚目表）

昭和二十年三月二十五日　ザンボアンガ方面戰死　海軍大尉　鈴木信光
（昭和二十年八月二十日進達海秘人第二三七〇號海軍大尉平岡通恭外二千七十九名中三枚目表）

昭和二十年五月七日　ダバオ方面戰死　海軍中尉　中山弘壽
（右同　七十二枚目裏）

昭和二十年六月一日　同　同　同　西川[illegible]
（右同　七十四枚目表）
昭和二十年六月十五日　同　同　同　永井善一
（右同　四十枚目表）
同　レガスピー方面　同地　同　三谷政雄
（右同、六十六枚目裏）
昭和二十年七月十日　ザンボアンガ方面　同　同　山口善明
（右同　五十枚目裏）

（終）

昭和二十一年六月五日

内閣官房人事課長　殿

第二復員省人事局長

（印：第二復員省人事局長之印）

敍位取消ニ関スル件照会

六月五日二復人第三二〇號特旨敍位取消ノ件ヒ参照處左記ノ者ハ各通報

ノ通今次大戦等作戦従事中戦死ト認メ戦死扱ヒ係通信途絶ノ爲戦死報告敍位

等今後トナリタルモノニ有之候條取消方可然取計相成度

記

昭和二十年六月十一日　沖縄方面　戦死　海軍少尉　小松　蘭

（昭和二十年八月八日造営海秘人第一八七四號海軍少尉丸山昂外三千二百六十四名中百六十八枚目参照）

昭和二十年六月十二日　同　同　海軍中尉　井本　純

（昭和二十年八月三十日海造秘人第二三七〇號海軍大尉平林?外二千七十九名中三十二枚目参照）

昭和二十年六月十五日　同　同　海軍少尉　本山　順治

（昭和二十年八月八日造営海秘人第一八七四號海軍少尉丸山昂外三千二百六十四名中百二十九枚目参照）

昭和二十一年六月五日　第二復員省人事局長

内閣官房人事課長　殿

叙位日附更正ニ關スル件照會

六月五日二復総人第一三一九號叙位日附更正ノ件ヲ以テ照會相成候左記ノ者ハ頭書ノ通今次戦争作戦途中戦死致候処通信連絡遅延ノ為戦死確定叙位遅延今後トナリタルモノニ有之候條叙位方可然御取計相成度

記

昭和二十年三月二十六日　沖縄方面ニテ戦死　海軍中尉　司　宗　尚

（昭和二十年三月十九日進達済拓人第六六二號海軍大尉池田作蔵以下千百五十一名中四十五枚目異）

（終）

昭和二十一年六月七日　第二復員省人事局

内閣官房人事課長　殿

叙位取消ニ関スル件回答

六月七日二復秘人第一三三八號叙位取消ノ件ヲ以テ照會相成候左記ノ者ハ各通牒ノ

通今次戦争作戦従事中戦死或ハ戦病死ヲ以テ遡及処置ノ為既死亡者叙位発令

後トナリタルモノニ有之依テ取消方可然取計相成度

記

昭和十九年十二月二十四日　比島方面ニ於テ戦死　陸軍中尉　[illegible]
（昭和二十年八月三十一日[illegible]二三七一[illegible]　正八位[illegible]三十九枚目[illegible]）

昭和二十年六月十六日　[illegible]方面ニ於テ戦死　陸軍少佐　[illegible]
（昭和二十一年一月二十五日[illegible]二復秘八[illegible]四九八號[illegible]　[illegible]外九百二拾八名中十七枚目[illegible]）

（終）

第二復員省人事局長印

国立公文書館 National Archives of Japan

第二復員省人事局長

内閣官房人事課長　殿

敍位日附更正ニ關スル件照會

三月十八日二復秘人第八三五號敍位日附更正ノ件上奏相成候左記ノ者ハ昭和二十年七月二十八日戰死同日附敍位發令相成候モ其ノ後調査ノ結果今般同年七月十六日戰死セルコト判明致候ニ付敍位發令日附更正方可然御取計相成度

記

昭和二十年七月十六日戰死　海軍大尉　水知創一

（昭和二十一年一月二十四日進達二復秘人第三七四號海軍少佐池淵信夫外五名中）

（終）

昭和二十一年三月十八日

第二復員省人事局長

内閣官房人事課長　殿

敍位取消ニ關スル件照會

三月十八日二復秘人第八三六號敍位取消ノ件上奏相成候左記ノ者ハ大東亞戰争作戰從事中戰死致シ之ニ伴フ進級ニ對スル相當位トシテ發令相成候處今般各頭書ノ通二階級進級上奏可然モノナルコト判明致候條取消方可然取計相成度

記

昭和二十年四月四日　南西諸島方面戰死　海軍少尉　亥角泰彦
任海軍大尉
（昭和二十年十一月十日進達海秘人第三三四四號海軍中尉亥角泰彦外三名中）

同　同　同　同　館脇孝治
（同右　同）

同　同　同　同　八木寛
（同右　同）

（終）

昭和二十一年六月五日

内閣官房人事課長　殿

第二復員省人事局長　（印）

叙位取消ニ關スル件照會

六月五日二復秘人第一三二四號叙位取消ノ件七差相成候左記ノ者ハ戰死進級ニ對スル相當位トシテ昭和十九年十一月二十二日附從七位敍令相成候處今猶生存シアルコト判明致候ニ付前記陞級進級取消相成候條本敍位取消方可然御取計相成度

記

布哇中國ニ　豊田正　殿　（昭和二十一年十二月二十五日進達　二復秘人第七〇〇〇號）

（終）

昭和二十一年五月二十六日

第二復員省人事局

[stamp]

内閣官房人事課長　殿

敍位取消ニ關スル件照會

五月二十六日二復秘人第一一一三號敍位取消ノ件上奏相成候左記ノ者ハ戰死ト認定セラレアリシ處終戰後生存シアルコト判明今般内地ニ歸着シタルニ付前記特殊進級取消相成候條本敍位取消方可然取計相成度

記

一、海軍中尉　中村　義良（昭和二十一年二月五日海達二復秘人第五三一號）

（終）

昭和二十一年五月十八日

内閣官房人事課長 殿

第二復員省人事局長 印

敍位取消ニ關スル件照會

五月十八日二復秘人第一二一號敍位取消ノ件上奏相成候處左記ノ者ハ孰モ戰死ト認定セラレアリシ處終戰後生存セルコト判明致候ニ付前記特殊進級取消相成候條本敍位取消方可然取計相成度

記

海軍中尉　東田功二郎（昭和二十年十一月二十四日海秘人第三五八三號通達）
同　森次男（昭和二十年十一月二十九日海秘人第三五七九號通達）
同　新藤勇藏（昭和二十一年一月十六日二復秘人第二三六號通達）
同　河名芳郎（同）
同　廣田怡（同）

（終）

一復業位第七六號

敍位取消ノ件進達

昭和二十一年六月　日

第一復員大臣　吉田　茂

内閣總理大臣　吉田　茂殿

陸軍大尉川原欣三外八名敍位取消ノ件

右進達ス

追テ本人者ニ對スル關係書類ハ新情勢ニ基キ整理ヲ行ヒタルタメ不明ニ付乍御手數可然取計相成度

官報不登載

一二八八

五月三十一日

吉

吉

海軍

一復局人第一一四一號

昭和二十一年五月二十二日

第二復員大臣　吉田茂

内閣總理大臣　吉田茂　殿

海軍役務大尉両ケ瀬正彦外一名叙位取消ノ件別紙上申書
進達ス

（終）

二復秘人第一三一二號

昭和二十一年六月四日

第二復員大臣 吉田 茂

内閣總理大臣 吉田 茂 殿

海軍主計大尉吉田豊穣叙位取消ノ件別紙上奏書進達ス

（終）

二復員人第一一七三號

昭和二十一年五月二十三日

第二復員大臣　吉田茂

内閣總理大臣　吉田茂殿

海軍主計少佐戸木 覺外三名敍位取扱ノ件別紙上奏進達ス

二復秘人第一三三〇號

昭和二十一年六月五日

第二復員大臣 吉田茂

内閣總理大臣 吉田茂殿

海軍少佐小松壯重敍位取消ノ件別紙ノ上奏書進達ス

（終）

二復秘人第一三二五號

昭和二十一年六月五日

第二復員大臣　吉田　茂

内閣總理大臣　吉田　茂

海軍少尉五澤幸造外八名叙位取消ノ件別紙上奏書進達ス

（終）

二復秘人第一三二〇號

昭和二十一年六月五日

第二復員大臣　吉田

内閣総理大臣　吉田　茂殿

海軍少尉小松　滿外二名叙位取消ノ件別紙上奏書進達ス

（終）

二復總人第一三一九號

昭和二十一年六月五日

第二復員大臣 吉田

内閣總理大臣 吉田 茂 殿

海軍少將岡司宗尚叙位日附更正ノ件別紙上奏書進達ス

（終）

二復秘人第一三三八號

昭和二十一年六月七日

第二復員大臣 吉田 茂

内閣總理大臣 吉田 茂 殿

海軍中尉岡[illegible]道 達外一名敍位取消ノ件別紙上奏案進達ス

（終）

官報不登載

二復秘人第八三五號

昭和二十一年五月十八日

第二復員大臣　吉田　茂

内閣總理大臣　吉田　茂　殿

海軍大尉水知創一叙位日附更生ノ件別紙ト奏書進達ス

（終）

官報不登載

二復秘人第八三六號

昭和二十一年三月十八日

第二復員大臣　吉田　茂

内閣總理大臣　吉田　茂　殿

海軍中尉亥角泰彦外二名敍位取消ノ件別紙上奏書進達ス

（終）

海軍

二復員人第一三二四號

昭和二十一年六月五日

第二復員大臣 吉田

内閣總理大臣 吉田茂殿

滬・寧中國側正義感化收酒ノ件別紙ノ寫進達ス

（終）

二復総人第一一一三號

昭和二十一年五月二十六日

第二復員大臣　吉田　茂

内閣総理大臣　吉田

海軍中尉中村義良敍位取消ノ件別紙上奏書進達ス

（終）

海軍

二復秘人第二一一號

昭和二十一年五月二十六日

第二復員大臣　吉田　茂　[印]

内閣總理大臣　吉田　茂　殿

海軍中尉奥田功二郎外四名敍位取消ノ件別紙上奏書進達ス

（終）

甲二八七號

別紙保田耕敍位取消ノ件

上奏書進達ス

昭和二十一年五月二十三日

厚生大臣　河合良成

内閣總理大臣　吉田茂殿

二

立案 昭和 年 月 日
決裁 昭和 年 月 日

爵位課長

宗秩寮総裁

海軍少尉小田切徳一外三名敍位取消の件

二三 六 十二

宮内省

国立公文書館
National Archives of Japan